

## 愛知県外科医会会報

令和2年3月31日発行

第117号

## 巻頭言

愛知県外科医会 会長 佐藤和郎



新型コロナウイルス感染が急速に拡大しています。武漢を中心とした中国だけでなく、世界各地から感染が報告されています。

コロナウイルスによる深刻な感染症として2002 - 2003年のSARS(重症急性呼吸器症候群)と2012年

のMERS(中東呼吸器症候群)が知られており、そして今回の新型ウイルス「2019 - nCoV」の出現です。

中国南部でSARSが2002年に確認され世界に拡がった当初、中国当局はその事実を隠そうとして感染拡大を招いた事実があります。そして国際的な批判を浴びました。中国政府は情報統制を行っており、言論の自由が保障されていないと理解されています。実際、昨年末今回の肺炎についてまだ原因不明の時期に注意喚起がインターネット上に投稿されるや、発言者の李文亮医師は武漢警察よりデマを流布したと訓戒の処分を下されたそうです。しかし、その後も新型肺炎は拡大の一途であり、1月31日武漢市のトップ馬国強書記が国営メディアにやっと対応の遅れを認めました。

1月20日の習近平主席の「感染蔓延の断固阻止」や「社

会安定の維持」を求める「重要指示」がその前提となっている様です。中央の指示によるものと推測されます。

一方で中国疾病予防センターの研究者たちが、1月29日「New England Journal of Medicine」(NEJM)にいち早く新型コロナウイルス感染の基本再生産数を発表し、12月中旬にはヒト・ヒト感染が起こっていたという論文を1月30日に公表しました。医療ガバナンス研究所の上昌広氏は、ヒト・ヒト感染は考えにくいと説明していた中国政府の面子を潰す様な論文を中国の研究者が世界最高レベルの医学誌である「NEJM」に発表したことに驚きを示しています。中国の研究者たちの「NEJM」や「Lancet」などへの投稿の活動を称賛している訳です。

ワクチンの開発の動きも始まっています。米国立衛生研究所(NIH)やエボラ出血熱ワクチンと同じ手法によるジョンソン・エンド・ジョンソンのワクチン開発です。

タイからはHIV感染治療薬(リトナビルとロピナビル)とインフルエンザ治療薬(オセルタミビル)を組合せた投与で劇的な効果が報告されています。

今後、新型コロナウイルスの簡易検査キット・治療法の確立ならびにワクチンの早期の開発が期待されるところです。

(令和2年2月5日記)

## 目次

●巻頭言	1
●令和元年度 救急医療医師研修会	2
●令和元年度 救急医療特別研修会 愛知県外科医会学術講演会	3
●令和元年度 愛知臨床外科学会	4
●令和元年度 整形外科・外科合同研究会	5
●編集後記	6

## 編集・発行

愛知県医師会館内  
愛知県外科医会〒460-0008  
名古屋市中区栄四丁目14 - 28  
TEL : 052 - 263 - 0093  
FAX : 052 - 263 - 6775  
H P : <https://aichi-gekaikai.jp/>

令和元年度  
救急医療医師研修会

日 時：令和元年11月14日(木) 14:00～16:00  
場 所：栄ガスビル 栄ガスホール半面 A (5階)

医療法人承継会 びわじま整形外科 院長  
愛知県スポーツドクター連絡協議会 会長

井戸田 仁 先生

成長期、体力がついてくる時期のスポーツは、ただ単に筋力や技術の向上だけではなく、神経系の発達や精神的・社会的発達、呼吸器循環器系の発達にとっても非常に重要な意味を持っている。一方この時期、スポーツする子、しない子の二極化問題の中で、スポーツ漬けの子供たちも増加傾向にあり、体のあちこちに問題を抱えつつ練習や試合に出場している選手が多いのも現状である。

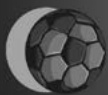
この成長期の特徴として、成長期の骨、関節は軟骨部分が多く外力に弱い特徴がある。この

骨の成長と軟骨の問題、筋腱の成長のアンバランスが成長期障害の特徴であり原因となる。さらに未熟な体格の上に精神的未熟さ、「頑張れ・頑張れ！」のスポーツ環境、日程も重なり障害・外傷が発生しやすくなる。

少子化時代の宝である子供たちの身体に将来的な問題を残さないよう、早期診断、早期治療、予防対策が非常に大切である。

整形外科的外傷、疾患を治療されることも多い外科の先生方のお役に立てられるような内容を中心にお話をさせていただきたいと思います。

成長期のスポーツ障害・外傷  
～その予防と処置～



愛知県医師会・整形外科医会  
名駅スポーツクリニック・びわじま整形外科  
井戸田 仁  
2019/11/14 愛知県外科医会

成長期の問題



- ・未熟な体格、体力差、技術差
- ・スポーツ漬け(スクール、部活、体育、多目的)
- ・目的(健康、勝利・記録 至上主義、進路)
- ・レギュラー、ポジション、代表獲得
- ・チームのため自分を犠牲
- ・応援団(家族、友人、学校)のプレッシャー

注意を要するケガ

- ・オーバーユース系  
腰椎分離症、投球肘障害、疲労骨折
- ・外傷系  
靭帯損傷、半月板損傷、肩関節脱臼
- ・混合系  
骨軟骨損傷(離断性骨軟骨炎)

成長期のケガの予防



- ・早期診断、理解、加療
- ・指導者、本人、家族の理解と協力
- ・トレーナー、民間医療、医師(専門医)の連携
- ・セルフチェック指導
- ・スポーツドクター、アスレティックトレーナー  
スポーツナース、メディカルマネージャーetc
- ・スポーツノート記録  
メニュー、体調、ケガ、日程、結果

まとめ

- ・成長期の骨軟骨の特徴とこの時期のスポーツの問題点を述べた。
- ・成長期のスポーツ外傷、障害の中で放置すると問題となりやすいケガにつき解説した。
- ・予防には選手の観察とコミュニケーション、個々に合ったスポーツメニューの検討が重要である。
- ・早期診断可能な環境づくりとともに指導者、親、治療者(民間医療、医師、トレーナーなど)の協力が必要と考えられた。

令和元年度

## 救急医療特別研修会 愛知県外科医会学術講演会

日時：令和2年2月15日(土) 18:00～20:00

場所：TKP ガーデンシティ PREMIUM 名駅西口2階

## 「生活習慣病の源流に挑む

## - JSH2019 改訂を踏まえた令和時代の

## 高血圧・生活習慣病診療に向けて-

名古屋市立大学 消化器・代謝内科学分野  
准教授 田中智洋先生

日本人の死因に占める心・腎・脳血管疾患の比率は合計で25%と、悪性新生物の27%に肉薄している。これら心血管疾患の上流にはすべからく若年期の肥満が寄与している。肥満は高血圧や糖尿病、脂質異常症、非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)、睡眠時無呼吸症候群等のリスクを高めるだけでなく、心房細動や胃食道逆流症(GERD)、気管支喘息の上流因子としても重要である。

一方、わが国では超高齢化が進んでおり、高齢患者においてはサルコペニアの予防や治療も重要課題である。

JSH2019(高血圧治療ガイドライン2019)では、家庭血圧の上昇が連続的に脳心血管病のリスクを増加させることから、診断・治療のいずれにおいても家庭血圧を重視する姿勢が示された。また後期高齢者であっても、降圧薬に忍容性があり併存疾患がある場合、両側頸動脈狭窄や脳主幹動脈閉塞が無ければ、家庭血圧で125/75mmHg未満と厳しい基準が示された。日本では糖尿病合併高血圧症患者の比率が高く、糖尿病性腎症・腎臓病に配慮した薬剤の使い分けも述べられている。

患者の体型や体組成に注目した個別化医療の実践としての令和時代の生活習慣病管理について述べさせて頂く。

## 「直腸癌に対するロボット手術」

トヨタ記念病院 消化器外科  
医長 山川雄士先生

直腸癌に対する手術は癌の根治性を確保することに加え、術後の排便や泌尿生殖器機能の温存、縫合不全などの合併症の予防など、きわめて難易度が高い。

大腸癌研究会プロジェクト研究では術後縫合不全は16%であった。またJCOG0212での自律神経温存手術における術後排尿障害はおおよそ60%、性機能障害は70～80%に生じることが判明した。さらに術後局所再発は、まさしく局所制御をコントロールする手術での癌遺残であり、5.6～11%と報告されている。これらの成績はいずれも手術の質に依存する項目である。直腸癌に対する腹腔鏡下手術は骨盤内での良視野を実現するものの、鉗子の干渉や可動域制限などにより、特に骨盤深部での手術難易度は高い。

da Vinci surgical systemを用いたロボット手術は鮮明な三次元ハイビジョン視野のもと、モーションスケールや手振れ補正機能を有した自由な多関節鉗子による、安定した鉗子操作を特徴とする。骨盤深部においても自分の理想とした切離ラインを描き解剖学的構造に沿った繊細で正確な手術が実行可能である。それにより、下部直腸癌においても肛門温存を実現することができ、合併症の予防や機能温存を実現することが可能となると考えている。

今回は直腸癌に対するロボット手術について、手術動画や手術成績を中心に供覧させていただく。

令和元年度 愛知臨床外科学会

■第52回愛知臨床外科学会

日 時：2019年7月15日(月・海の日)

午前9時15分～

会 場：愛知県医師会館

A会場 9階大講堂

B会場 地階健康教育講堂

当番会長：常滑市民病院

院長 深田 伸二 先生

・ランチョンセミナー

時 間：12：10～13：10

会 場：A会場(9階大講堂)

座 長：JA 愛知厚生連 豊田厚生病院

上部消化器外科部長

井上 昌也 先生

演 題：「腹腔鏡下胃切除に対するがん研での取り組み - 郭清・再建からレジデント教育まで -」

講 師：がん研有明病院 消化器センター

胃外科部長 布部 創也 先生

・愛知臨床外科学演題

A会場(9階大講堂) 29演題

B会場(地階健康教育講堂) 28演題

■第53回愛知臨床外科学会

日 時：2020年2月11日(火・建国記念の日)

午前9時30分～

会 場：愛知県医師会館

A会場 9階大講堂

B会場 8階会議室

当番会長：公立西知多総合病院

院長 浅野 昌彦 先生

・ランチョンセミナー

時 間：12：00～12：50

会 場：A会場(9階大講堂)

座 長：公立西知多総合病院 外科

手術センター長 青野 景也 先生

演 題：「院内災害対策 ～手術中に地震!! その時どうする～」

講 師：大阪警察病院 ER・救命救急科

医長 廣瀬 智也 先生

・特別講演

時 間：13：00～13：50

会 場：A会場(9階大講堂)

座 長：公立西知多総合病院

院長 浅野 昌彦 先生

演 題：「高難度手術に挑戦することと手術の安全性」

講 師：名古屋大学大学院腫瘍外科学

教授 椰野 正人 先生

・愛知臨床外科学演題

A会場(9階大講堂) 26演題

B会場(8階会議室) 23演題

次回開催予定のご案内

■第54回愛知臨床外科学会

日 時：2020年7月23日(木・海の日)

場 所：愛知県医師会館

当番会長：名古屋市立大学腫瘍・免疫外科学 主任教授 中西 良一 先生

## 令和元年度 整形外科・外科合同研究会

日時：令和2年1月18日(土) 17:15～  
場所：名鉄グランドホテル 11階「桂の間」

### ■ 特別講演

#### 「高齢者・腎障害患者に対する慢性疼痛治療戦略」

名古屋大学医学部  
循環器・腎臓・糖尿病 (CKD) 先進診療システム学講座  
准教授 安田 宜成 先生

### ■ 保険審査諸問題検討結果

#### 1) 25-ヒドロキシビタミンD

1. 骨粗鬆症の病名で25-ヒドロキシビタミンDを算定した場合は、117点 (KL-6の点数に準ずる)
2. ビタミンD欠乏性骨軟化症、ビタミンD欠乏性くる病の病名で25-ヒドロキシビタミンDを算定した場合は400点

骨粗鬆症のみの病名で25-ヒドロキシビタミンD (400点) を算定した場合は、事務サイドで400点から117点に振り替える。

骨粗鬆症+ビタミンD欠乏性骨軟化症(疑い)で25-ヒドロキシビタミンD (400点) を算定した場合は、骨軟化症の診断基準のいくつかを認めるような症例に限り、400点を認める。

#### ●骨軟化症診断マニュアル(日本内分泌学会・日本骨代謝学会)

##### 大項目

- a) 低リン血症、または低カルシウム血症
- b) 高骨型アルカリホスタファーゼ血症

##### 小項目

- c) 臨床症状：筋力低下、または骨痛
- d) 骨密度：若年成人平均値 (YAM) の80%未満
- e) 画像所見：骨シンチグラフィーでの肋軟骨などへの多発取り込み、または単純X線上での Looser's zone

(1) 骨軟化症：大項目2つと小項目の3つをみたくもの

(2) 骨軟化症の疑い：大項目2つと小項目2つをみたくもの

#### 2) イベニティ ロモソズマブ(遺伝子組換え)

- 初診からの処方をするか(従来の治療薬で効果不十分、あるいは骨折のリスクが高い、との条件あり)
- 1クール(12カ月)と2クールの間隔をどうするか(縦覧では7カ月以上は確認不能)

#### イベニティの使用について

##### 効能効果

骨折の危険性の高い骨粗鬆症

##### 効能効果に関連する使用上の注意

本剤の適用にあたっては、低骨密度、既存骨折、加齢、大腿骨頸部骨折の家族歴等の骨折の危険因子を有する患者を対象とすること。

海外で実施されたアレンドロン酸ナトリウムを対象とした比較試験において、心血管系事象(虚血性心疾患又は脳血管障害)の発現割合がアレンドロン酸ナトリウム群に比較して本剤群で高い傾向が認められている。本剤の投与にあたっては、本剤のベネフィットとリスクを十分に理解した上で、適用患者を選択すること。【重要な基本的注意】、「その他の注意」及び【臨床成績】の項参照

##### 用法用量

通常、成人にはロモソズマブ(遺伝子組換え)として210mgを1カ月に1回、12カ月皮下投与する。

##### 用法用量に関連する使用上の注意

本剤の骨折抑制効果は12カ月の投与で検証されており、12カ月を超えた投与では検討されていない。また、本剤投与終了後に原則として適切な骨粗鬆症薬による治療を継続すること。

ロモソズマブ(遺伝子組換え)210mgを投与するために、本剤2本を皮下に投与すること。

本剤の投与が予定から遅れた場合は可能な限り速やかに投与を行い、以後、その投与を基点とし、1カ月間隔で投与すること。

## 愛知県外科医会ホームページ

URL <https://aichi-gekaikai.jp/>

### 【掲載内容】

1. 「外科医会について」欄には、外科医会会則、役員名簿、評議員名簿、事業計画、会報等を掲載しています。
2. 「お知らせ」欄には、幅広い分野の講師の先生方、演題等での講演会・研修会をご案内しています。
3. 「学術集会」欄には、令和元年度愛知臨床外科学会学術集会、以降の学術集会等のご案内を掲載します。
4. 「イベントカレンダー」欄には、今後開催予定の講演会、研修会等をご案内いたします。

**より多くの外科系医師の先生方のご参加をお願いします！**



## ❖ 編集後記 ❖

この度、厚労省から公立病院改革プランが公表されました。愛知県では9病院が再編統合の対象になり、愛知県心身障害者コロニー、国立病院東名古屋などが含まれます。診療実績が少なく赤字体質であることや近隣に類似の病院があることがその理由です。最近では赤字経営の県がんセンター愛知病院が岡崎市民病院に統合されました。

がん患者の診療、神経疾患、身体障害者など不採算な診療を担う病院を維持する余裕が国や自治体に無くなってきています。このような行政のトップダウンの対応が必要になってきています。

近隣に類似の病院が複数ある場合、地域の医師会員はその再編について医師の働き方や所属する大学の医局などの観点から地域の実情にあった考えを持っていると思います。医療の変革時に医師会がボトムアップの対応を示すことができないかと思っています。

愛知県外科医会 副会長 山内 晶司

編集・広報委員 ..... 山内晶司、間瀬武則、大浜寿博、中島克昌、長谷川満